

♪ 読書会のお知らせ ♪

読書会とは事前に同じテキストを読んで、当日に参加者同士が感想を話し合います。

日時：12月20日(水) 放課後15時40分～(1時間程度)

場所：学習室

テキスト：『魔法のプラハ』 俵 万智

20ページほどの紀行エッセイ

申し込み：12月15日(金)までに図書室に来てください。

河村(株)様より下記の資料を寄贈いただきました。

北國新聞縮刷版 DVD

令和5年9月号～10月号

*社長をはじめ社員の皆様の多くが本校卒業生の会社です。

『かがみの孤城』 辻村深月

『かがみの孤城』は、中学1年生のころが鏡に吸い込まれて、不思議な世界に迷い込む話です。

ラストがとても衝撃的で、とても面白いです。読んでみてください。

『君が夏を走らせる』

瀬尾まいこ

金髪でピアスをあけた高校生の主人公が、夏休みの間、1歳の女の子の子守をすることになるという物語です。私は、ページをめくる手が止まりませんでした。ぜひ読んでみてください。

金商生の おすすめ本

『君たちはどう生きるか』

吉野源三郎

コペル君というあだ名の15歳の少年の物語です。たくさん考えさせられる内容で、人生を見つめ直すきっかけになる本です。

『medium 霊媒探偵城塚翡翠』

相沢沙呼

ミステリ小説作家・香月史郎と霊媒師・城塚翡翠が、様々な殺人事件を“霊媒”の力と“論理的”な視点から解決していく物語。この結末に貴方はきっと驚愕する。

『余命10年』 小坂流加

自分が余命宣告されたら、残された時間をどう過ごしたいと思うか色々なことを考えさせられました。

10年は長いようで短い、人生の残り時間を自分で分かって生きるのは辛いと思いました。

『天と地の方程式』 富安陽子 五十嵐大介

登場人物みんなが魔法のような力を使えて、怪物を倒しに行く話です。何気ない日常から始まって、舞台が普通の学校とか普通の町なので、自分の身にも起こるかもというわくわく感とともに話が進んでいきます。

『解きたくなる数学』 佐藤雅彦ほか

この本は、「こんな考え方があるのか!」「こういう法則があるのか」という新たな発見がある本です。数学が苦手な人でも理解しやすい解説がついています。文字が少なく写真が多いため、絵本感覚で読むこともできます。

『大人は泣かないと思っていた』 寺地はるな

この本は連作短編集で、1つの短い話をキャラクターや世界設定を変えずに、一繋がり話として何話も続いていきます。

同じ世界の話でも、視点を変えるだけで全然ちがうことが感じられて、とてもおもしろいです。

『天久鷹央の推理カルテ』 知念実希人

私はこの本を読んで、自分が知らないたくさんの病気を知れました。日々、健康に生きていることの大切さを実感することができました。

『ハリー・ポッターと炎のゴブレット』

J. K. ローリング

ハリー・ポッターの世界観がとても好きです。読んでっているとわくわく、ドキドキして楽しい気持ちになります。